

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

吉浦中学校区 校番 15 学校名 吉浦中学校

a 学校教育目標	かしこく やさしく たくましく (自利 利他 貢献)	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 (学校の使命) 夢の実現に向けた志を抱き自己を成長させていくとともに、自分を大切にし他を大切に、地域や社会に貢献できる生徒を育成する。 〈ビジョン〉 (将来の学校像) 伝統を継承し、人々とふれあう中で地域と一体感をもち、郷土愛を育むことができる学校
----------	-------------------------------	----------------------	---

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	確かな学力…基礎的・基本的な学力については定着が見られているが、30%未満の生徒の固定化が進んでいる。そのため、家庭学習・個別指導の充実を図る。 豊かな心…自己肯定感・自己指導能力については高い数値で維持されている。地域との協働の中で郷土のよさに気付き、郷土に貢献できる生徒を増やしていく。 働き方改革…教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整え、長時間勤務を削減するとともに生徒と向き合う時間を確保する。
------------------------------	---

育成すべき資質・能力	知識・技能 思考力・判断力・表現力 協働 郷土愛
------------	--------------------------

評価計画 (中期経営目標を設定してから ①・②・③ 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	(9)月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
*** (貴)	確かな学力 生徒が主体的に学習する授業づくりについて工夫改善を進め、学力を向上させる。	学力の向上を図る。 課題解決に向けて自ら調べ、考えようとする意欲を向上させる。	落ち着いた学習環境を維持し、指導方法・教材を工夫するとともに、個別指導を継続的に実施していく。 教科等の本質に迫る「考える授業づくり」を取り入れ、発問等の工夫により授業改善を推進する。	全国平均との比較 国語・数学・理科 授業を落ち着いて受けることができる。 ICT機器で課題解決に向けて資料収集や取材、意見交流をする。 クラスの人の意見が参考になる 新しい問題に出会ったときに解いてみたいと思う。	全国平均以上 85% 70% 85% 70%						
** (豊)	豊かな心 社会性の向上と学習意欲の向上 防災学習の充実	自尊感情、自己肯定感を向上させ、学校生活への適応を図る。 協働できる力を向上させる。 地域の良さや課題に気づかせ、地域に貢献する力を育む。	教育相談活動を充実させ、学校生活の各場面において生徒の言動に対する肯定的評価を実施する。 道徳・特別活動の充実を図り、部活動と生徒会活動の活性化を図る。 地域行事や地域との協働活動を通じて郷土への理解を深め、地域の良さや防災等の課題に気づかせる。	QUでの学校生活不満足群生徒の人数 みんなで協力しあって、よりよい学級や学校を作ろうとしている。 自分の郷土の良さに気づき、その郷土に貢献したいと考える生徒の割合	1割減 90% 85%						
* (働)	働き方改革 教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境を整える。	生徒と向き合う時間を確保する。 長時間勤務の削減を図る。	学校行事の実施内容・方法等の改善を図り、生徒とともに考え、活動する場を設定していく。 週1回の定時退校を徹底する。予定・期限の見える化で進捗管理を行う。	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合 自分をよく分かってくれる先生がいる。 時間外勤務の上限(月45時間)を超える人数(限定四項目を除く)	85% 80% 月平均1人						

【k: 評価】

- A: 100 ≦ (目標達成)
- B: 80 ≦ (ほぼ達成) < 100
- C: 60 ≦ (もう少し) < 80
- D: (できていない) < 60